

つわの まさこ市政レポート

2024.1 vol.2

発行：さいたま市議会議員 津和野眞佐子



▲一般質問に登壇(9月定例会にて)

さいたま市議会議員の津和野眞佐子です。

先に開催された9月定例会(9月6日開会～10月20日閉会)では、市議会議員として初となる一般質問に立ち、「公共交通の更なる充実について」や「実情を踏まえた避難所の在り方について」など、4項目10件について市の施策に対し質問・提言等をさせていただきました。また、12月定例会(11月29日開会～12月22日閉会)では決算特別委員会にて議案外質問を行いました。

本号は、その概要を掲載いたしました。どうぞご一読いただき、市政に対する皆さまのご意見や感想などをお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野眞佐子

一般質問報告(9月定例会)

1 利便性向上のための公共交通の更なる充実について

(仮称)明花駅実現に向けた現状の課題把握及び検討について

Q 地域の方々からご要望をいただき取り組んでいる、南浦和駅と東浦和駅の中間に位置する「(仮称)明花駅」の新設について、高齢者の利便性を確保する上でもたいへん重要であり、できるだけ早く実現するべきと考えており、都市局長の見解を伺います。

A **都市局長** JR武蔵野線の南浦和駅と東浦和駅の中間に位置する新駅については、昭和60年より鉄道事業者に要望活動を行っています。一方、鉄道事業者からは収入の確保を求められており、当該地区の基盤整備が必要と考えます。市としては土地区画整理事業によらない地区の特性に応じたまちづくりについて、地元の方々と意見交換を行ってまいります。

3 共生しやすい「まち」について

ITを活用した先進的な取り組みについて

Q 区役所の窓口対応について、外国の方や障がいのある方でも円滑なコミュニケーションが図れるデジタル機器の導入を提案いたします。ご検討いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

A **都市戦略本部長** さいたま市DX推進本部の「窓口デジタル化WG」では、区役所職員も含めて議論を重ねており、その中では「外国の方とのコミュニケーション」や「発音が苦手な市民とのやりとり」についても課題として共有しているところです。

議員ご提案のデジタル機器についても、区役所職員の意見や区民の皆さまの声、DX推進アドバイザーの意見などを踏まえ、先行自治体の導入事例なども参考に検討を進めたいと考えています。

2 市民も参加する循環型社会の形成について

これまでの主な取り組みと実証事業の結果を元にした今後の展望について

Q 来年4月から事業所のゴミ処理手数料の値上げが決まりましたが、市民による清掃センターへのゴミの持ち込みについてはどのように考えているのでしょうか？ また近隣市の持ち込みゴミの状況などが分かれば教えてください。

A **環境局長** 市民の皆さまが清掃センターへゴミを直接持ち込む場合は、100kg未満は無料、100kgを超えた場合は10kgにつき20円の処理手数料をいただいています。市民によるゴミの直接持ち込みについては、今年度の廃棄物減量等推進審議会へ諮問しており、11月にいただく答申を基にこの制度の在り方自体を検討してまいります。

近隣の状況については、川口市、上尾市では10kg 100円、戸田市、蕨市では直接搬入不可としています。また政令指定都市は、川越市では直接搬入不可、相模原市では10kg240円、千葉市では10kg270円となっています。

Q ゴミ処理料が安いと、市外の方が本市の清掃センターにゴミを持ち込むことがあるのではないかと危惧しますがいかがでしょうか？

A **都市局長** 市外の方が本市清掃センターへのゴミの持ち込みを防ぐため、清掃センター入口において市民であることの確認を徹底し、不適切な搬入がないように努めています。



4 実情を踏まえた 避難所の在り方について

母子に特化した施策について

Q

本市では災害時において、妊産婦及び乳幼児のための母子救護所の設置予定がないとのことですが、設置の検討などどのように考えているのか伺います。また避難所へ避難した妊産婦及び乳幼児に対しては、どのようなケアをすることになっているのか伺います。

A

総務局長 本市では学校等の指定避難所については、妊産婦や乳幼児を含めた要配慮者のためのスペースを優先的に確保することとしており、授乳スペースや育児スペースを確保することとしています。また公民館等を要配慮者優先避難所に指定しているほか、社会福祉施設を福祉避難所として設置することとしています。母子救護所の設置は、現時点では難しいと考えています。

避難所におけるケアについては、健康相談などを助産師の方々に協力をお願いしたいと考えています。今後も支援の充実に努めてまいります。

Q
A

なぜ母子救護所が設置できないのか、何が障害になっているのか、見解を示してください。

総務局長 設置場所や母子救護所までの移送手段、専門的な人材の確保など、様々な課題があると認識しています。今後は他の自治体の事例などを調査しながら、母子救護所の設置について研究していきたいと考えます。



助産師等の新たな人材の避難訓練の参加について

Q

助産師等に避難訓練への参加を促し、災害時のサポート体制を強化する必要があると考えますがいかがでしょうか？

A

総務局長 議員ご提案の助産師や保健師等の避難訓練への参加については「総合防災訓練・防災フェア」では埼玉県助産師会に参加いただいています。一方、学校等で実施している避難所運営訓練では、現在は助産師や保健師の参加を促しておらず、今後、関係部局や埼玉県助産師会等と連携しながら、災害時の支援体制を強化できるよう検討していきたいと考えます。

12月定例会報告

スクラップヤード設置規制条例などを 議決しました

市議会12月定例会は11月29日に開会し、一般会計補正予算(約36億円)などを議決し、12月22日に閉会しました。

補正予算の主な内容は、新型コロナの5類移行やインフルエンザの流行などで子どもの医療費助成の経費が当初の予算額を上回ったことから、不足分約13億円を計上したほか、スケートボードやBMXなどのアーバンスポーツが行えるスペースを緑区に整備するための経費約657万円などが盛り込まれました。

また、鉄くずなどを保管する「金属スクラップヤード」の設置を規制する「再生資源物の屋外保管に関する条例」が議決されました。事業者に対して立地の基準を定めたほか、事業を始める際には地域住民に対する説明会の実施義務付けなどが定められました。条例の施行は令和6年2月からになります。

県道34号「浦和太田窪二郵便局」付近

街灯設置が 実現しました

現在、拡幅事業が進められている県道34号(通称:さいたま草加線)の「浦和太田窪二郵便局」付近は街灯が少なく、地域住民の方々から「夜は怖くて歩きにくい」、またドライバーからも「暗くて歩行者や自転車が見えにくい」との声をいただいていた。

市担当部局に相談したところ、交通安全の確保は最優先として、さっそく街路灯の設置が実現しました。



議案外質問報告(12月定例会)



12月定例会では決算特別委員会において以下の3項目について議案外質問を行いました。



1. 東楽園再整備事業について
(1) 工事の進捗状況について
2. 出産について
(1) 妊娠届出書について
(2) 市立病院にて出産する際の手続きやサポート等について
3. ガン対策推進について
(1) 小児ガンの定義が本市の計画のどこにあるか

さいたま市政に関する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

津和野 眞佐子

さいたま市南区大谷口674-4-102

Email : m.tsuwano@gmail.com

TEL : 090-8050-1182

<https://www.instagram.com/m.tsuwano>

▶ instagram

